

湖北町「秋の祭典」

宇野 太基

2009年10月18日（日）に湖北町において町民向けのフェスティバル「秋の祭典」が行われた。これまでも同町と本学の間では協力関係にあり様々な取組みを実施してきたが、今回のイベントへは当センターの教職員5名及び学生8名が関わることとなった。

別の事業報告にもあるが、本年度より「びわスポキッズプログラム」が開始されている。このプログラムは始まったばかりであり現時点では十分な内容と言える状況ではないが、子どもたちにスポーツ・運動の楽しさや喜びに触れて欲しいとのプログラムの趣旨に賛同いただき、本学から遠く離れた場所にも関わらず実施させていただく機会を頂いた。

当日は、新型インフルエンザの影響から数名の参加者が敬遠・断念される事態となってしまったが、それでも湖北町に住む子どもたち8名の参加があり、キッズリーダーである本学の学生とスポーツに触れ合う機会を作ることが出来た。プログラムの序盤は初めての運動・遊びに戸惑う子どもたちもいたが、リーダーが中心となって集団をまとめ、サブリーダーが子どもたち一人ひとりに声をかけるなどの配慮も見られ、プログラムを実施する毎に子どもたちと学生との距離が縮まって行く様子が見られた。

戸惑っていた子どもが次第にプログラムに積極的になる姿が印象的であった。

別の会場（体育館）で行われたフットサル大会においては本学のサッカー部がチームを作り、ゲストチームとして参加させていただいた。数年前より湖北町ではフットサルが盛んに行われており、参加チームも多く、予選の段階でかなりのハイレベルな状況であった。大会優勝チームと最後に試合を行ったが、相手チームには予選の疲れを感じさせないプレーもあり、白熱した試合が繰り広げられた。結果は現役としてのプライドを守り、本学が勝利となったが、何よりこの様なイベントにおいて学生スポーツと地域スポーツが交流を深める機会になっており、両者にとって有意義な経験になったと思われる。

また、イベント会場においてブースの展示をさせていただき、大学並びに当センターの紹介を行った。大学案内やBSSCジャーナルを配布し、DVDの映像を流すなど大学のアピールをさせていただいた。ブース内では、不要なスポーツ用品をバザーに出すなども行った。

これらの活動は本学教職員並びに学生と湖北町住民とがスポーツを通じて交流を深める機会となり、両者にとって有意義な事業になったと思われる。町長をはじめ湖北

町の担当者から高評価をいただくことが出来た。今後もこの様な活動は積極的に行い、学生の学びも場を増やすと共に、少しでも地域に貢献していきたい。